

一 つぎの 文(ぶん) しょうを 読んで、 もん だいに 答え(こた)えましょう。

ビーバーは、ゆびと ゆびの 間(あいだ)に じょうぶな 水(みづ)かきがある 後ろ(うしろ)あしで、

体(からだ)を おしすすめます。

① おは、オールのよう な 形(かたち)を して いて、 上手(うまい)に かじを とりま。

ビーバーは、木(き)を くわえた まま、水(みづ)の 中(なか)へ もぐって いきます。

木の とがった 方(ほう)を 川(かわ)の そこに さし

こんで、ながれないように します。その 上(うへ)に 小えだを つみ上げて いき、上(うへ)から 石(いし)で おもしを して、どろで しっかり

かためて いきます。

家(か)ぞくの ビーバーたちも、はこんで き た 木(き)を ならべ、石(いし)と

どろで しっかりと かためて いきます。 一度(いちど)もぐった ビーバーは、ふつうで 五分(ごふん)間、長い ときには 十五(じゅうご)分間も 水(みづ)の 中(なか)に います。

② ビーバーは、夕方(ゆふぐ)から 夜中(よなか)まで、 家(か)ぞくそう出(で)て しごとを つづけます。

こうして、つみ上げられた 木(き)と 石(いし)と どちら(どち)は、一方(いっぽう)の 川(かわ)ぎしから はんたいがわ

の 川(かわ)ぎしまで、少し(すこ)ずつ のびて いき、 川(かわ)の 水(みづ)を せき止(と)める

りっぱな ③ ダムが できあがります。 ながわしろう「ビーバーの 大工(たいこう)事(じ)」より

一 〔 〕に あてはまる ことばを 〔 〕から えらんで、 書(か)きましよう。

〈20 各 5〉

けっして まるで やがて つぎつぎに そうして ぐいぐいと

2 ① おは どのよう な 形(かたち)を して いますか。 文(ぶん) しょうから 三(さん)字(じ)で ぬき出(だ) しまししよう。

〔 〕のよう な 形(かたち)

3 ビーバーの ダムの 作り方(かた)に ついて 正(ただ)しい じゆんに ばんごうを 書(か)きましよう。

〈完答 10〉

小えだを つみ上げていく。

石(いし)で おもしを して、どろで

しっかりと かためる。

木の とがった 方(ほう)を 川(かわ)の そ

4 ② そう出(で)と 同(お)じ いみに なる こ とばを 一(い)つ えらんで ○を つけ

ましよう。

() ひとり

() ぜんいん

5 ③ ダムは 何(なん)で 作(つく)られて いますか。

三(さん)つ 書(か)きましよう。

〈完答 10〉

二 つぎの 文(ぶん)の 主語(しゅご)に 線(せん)を、 じゅつ語(じゅつご)に 線(せん)を 引(ひ)きましよう。

〔20 各 5〕

〈れい〉弟(おとうと)が おどろく。

一 ゆつくりと 大男(おおおとこ)が 歩(ある)く。

2 きよ年(ねん)の 四(し)月(がつ)に、 わたしは 小(しょう)学(がく)校(こう)に 入(にゅう)学(がく)した。

三 〔 〕に かん字(い)を 書(か)きましよう。

きた

1 〔 〕 アメリカ 2 〔 〕 いあご。

つよ

〔20 各 5〕

3 〔 〕 しい。 4 川(かわ)の 〔 〕 ちか

